

平成29年度
事務事業別予算概要書

(学校教育部関係)

平成29年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
第1節 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち 一人づくり						
②新しい時代を担う子どもたちを育むまち						
1-2 子どもたちの確かな人間力を育成する学校教育の充実						
	102	1	私立学校等助成事業	教育総務課	1
	102	2	教育交流事業	教育総務課	2
	102	3	私立幼稚園助成事業	学事課	3
	102	4	小学校運営事業	学事課	4
	102	5	小学校教育支援者配置事業	指導課	5
	102	6	小学校通学支援事業	学事課	6
	102	7	中学校運営事業	学事課	7
	102	8	中学校教育支援者配置事業	指導課	8
	102	9	中学校通学支援事業	学事課	9
	102	10	幼稚園運営事業	学事課	10
	102	11	幼稚園教育補助員配置事業	指導課	11
	102	12	学校教育推進事業	指導課	12
	102	13	学校の元気応援事業	指導課	13
	102	14	部活動等助成事業	指導課	14
	102	15	特別支援教育推進事業	指導課	15
	102	16	理科観察実験アシスタント配置事業	指導課	16
	102	17	外国語教育推進事業	指導課	17
	102	18	学校図書館運営事業	指導課	18
	102	19	学校体育推進事業	指導課	19
1-3 時代に対応した教育環境の整備・充実						
	103	3	小学校理科教育振興事業	教育総務課	20
	103	4	小学校情報教育推進事業	教育総務課	21
	103	5	小学校新設事業	教育総務課	22
	103	6	小学校大規模改造事業	教育総務課	23
	103	7	小学校プール改築事業	教育総務課	24
	103	8	小学校増改築事業	教育総務課	25
	103	11	中学校理科教育振興事業	教育総務課	26
	103	12	中学校情報教育推進事業	教育総務課	27
	103	13	中学校大規模改造事業	教育総務課	28
	103	20	学校保健事業	学事課	29
	103	21	学校給食管理運営事業	学事課	30
	103	22	小学校図書整備事業	指導課	31
	103	23	中学校図書整備事業	指導課	32
	103	24	学校給食センター管理運営事業	東広島学校給食センター外	33
	103	26	小学校施設改修事業	教育総務課	34
	103	28	中学校施設改修事業	教育総務課	35
1-4 家庭・学校・地域が連携した青少年健全育成の推進						
	104	1	生徒指導推進事業	青少年育成課	36
	104	2	青少年健全育成事業	青少年育成課	37
第5節 新たな発想を活かした自立と協働のまち 自立のまちづくり						
②信頼される行政経営						
5-4 効率的な行政経営の推進						
	504	22	学校給食調理業務民間委託事業	学事課	38
	504	23	学校給食センター化事業	学事課	39

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	私立学校等助成事業	一般会計	10 款	1 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 教育総務係			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	勤労学生の教育活動の支援及び生徒・保護者の経済的負担の軽減、私立学校の教育環境の充実を図ることを目的とする。														
対 象 (誰・何を対象に)	賀茂高等学校定時制後援会、近畿大学附属広島高等学校東広島校、呉武田学園武田高等学校														
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 賀茂高等学校定時制後援会助成(251千円) 後援会行事や部活動全国大会遠征等に要する経費に対し、補助金を交付する。 (単位:千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">区分</th> <th style="width: 40%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賀茂高等学校定時制後援会</td> <td style="text-align: right;">251</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 私立学校助成(2,068千円) 教材費や教育研究機器等の購入に要する経費に対し、補助金を交付する。 (単位:千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">区分</th> <th style="width: 40%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>近畿大学附属広島高等学校東広島校</td> <td style="text-align: right;">1,166</td> </tr> <tr> <td>呉武田学園武田高等学校</td> <td style="text-align: right;">902</td> </tr> </tbody> </table>					区分	予算額	賀茂高等学校定時制後援会	251	区分	予算額	近畿大学附属広島高等学校東広島校	1,166	呉武田学園武田高等学校	902
区分	予算額														
賀茂高等学校定時制後援会	251														
区分	予算額														
近畿大学附属広島高等学校東広島校	1,166														
呉武田学園武田高等学校	902														
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)										
	賀茂高等学校定時制後援会への補助金交付	円	199,500	250,800	250,800										
	私立学校2校への補助金交付	円	1,944,000	2,232,000	2,068,200										
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	賀茂高等学校定時制後援会及び私立学校2校に対し、生徒の保護者の経済的負担の軽減、勤労学生の教育活動の育成及び教育環境整備を図ることを目的として、予算の範囲内で補助金を交付するものであり、成果指標として数値化することが困難である。														
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)								

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	2,144 千円	3,483 千円	2,319 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	500 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	2,144 千円	2,983 千円	2,319 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	教育交流事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 教育総務係	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	姉妹都市である北海道北広島市の小中学校と相互に児童生徒を派遣して交流することにより、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大や友好の精神を培う。また、友好都市である中国四川省徳陽市と教育文化の交流を行い、互いの友好親善を深め、児童生徒の国際的視野を拡大させる。						
対象 (誰・何を対象に)	東広島市立小中学校児童生徒						
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 北海道北広島市教育交流(2,885千円) 小中学校から選出された子ども大使と引率者からなる訪問団を相互に派遣し、それぞれ相手先で表敬訪問や交流校訪問などの活動を行う。 派遣予定:8月23日～25日 小学生9人、中学生7人、引率者4人 受入予定:8月3日～6日 小学生8人、中学生6人、引率者4人</p> <p>2 中国四川省徳陽市教育交流(2,287千円) 隔年で相互に児童生徒と引率者からなる訪問団を派遣し、表敬訪問や交流校訪問、ホームステイ等の交流活動を行っている。平成29年度は派遣を予定しており、派遣する児童生徒は、小学5年生から中学3年生までを対象に、各学校を通じて募集し、作文等の書類選考により決定する。 派遣予定:日程未定 小中学生8人、引率者2人</p> <div style="text-align: center;">  <p>交流校訪問での、北広島市の子どもたちによる 歓迎行事の様子 (平成28年度)</p> </div>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	派遣後、全校を対象に報告会を行った学校の割合(北広島)	%	80	100	100		
	派遣後、全校を対象に報告会を行った学校の割合(徳陽)	%	75	-	100		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	北海道北広島市との教育交流については、教育交流実施後の学校へのアンケートにおいて、本市の児童生徒の北海道北広島市への理解が深まったと回答した学校の割合、中国四川省徳陽市との教育交流については、派遣された児童生徒へのアンケートにおいて、派遣前より中国四川省徳陽市への理解が深まったと回答した児童生徒の割合をそれぞれ成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)	30年度(目標値)	一年度(目標値)
	児童生徒の北広島市への理解が深まったと回答した交流校の割合(受入・派遣)	%	100	100	100	-	-
	徳陽市への理解が深まったと回答した派遣児童生徒の割合	%	100	-	100	-	-

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	3,358 千円	3,730 千円	5,172 千円	千円
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	609 千円	80 千円	733 千円	千円
	一般財源	2,749 千円	3,650 千円	4,439 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	私立幼稚園助成事業	一般会計	10 款	1 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	私立幼稚園の教育環境整備に対し助成することにより、保護者の経済的負担の軽減、教育環境の充実及び教育の振興を図ることを目的とする。						
対 象 (誰・何を対象に)	市内私立幼稚園						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 私立幼稚園運営費補助(2,139千円) 市内の私立幼稚園に対して優良図書の計画的な購入等教材の充実、職員の資質向上のための研修活動等を補助対象事業として補助金を交付する。(予定:8園) 【補助内容】 均等割…260,000円×8園 園児数割…59,000円 計 2,139,000円</p> <p>2 私立幼稚園設置状況</p> <div style="text-align: center;"> </div>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	補助対象幼稚園数	園	8	8	8		
	私立幼稚園園児数	人	1,463	1,510	1,510		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	私立幼稚園8園に対し、予算の範囲内で補助金を交付し、職員研修の充実、教材園具等の整備、園児の健康管理などの環境整備を支援するものであるが、保護者の経済的な負担を軽減する側面もあることから、成果指標として数値化することが困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	2,139 千円	2,139 千円	2,139 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	2,139 千円	2,139 千円	2,139 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 4	新規・継続	継続
事務事業名	小学校運営事業	一般会計	10 款	2 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	小学校教育の充実・深化を図り、教育の効率を上げるための環境を整備する。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校 36校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 学校事務職員の配置(2,231千円) 県基準では十分な事務職員が配置されない小学校に対して、市費による事務職員を配置することで学校運営を円滑にする。(予定:1名)</p> <p>2 臨時講師の配置(2,666千円) 県基準では十分な教諭が配置されない小学校に対して、市費による臨時講師を配置することで教育環境の改善を図る。(予定:1名)</p> <p>3 教育関係団体に対する補助金、負担金の交付(1,818千円) 学校教育の充実と振興を図るため、市内の教職員等で構成される小学校校長会、小学校教頭会、東広島市立学校教育研究会等の活動を支援する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	事務職員配置数	人	1	1	1		
	臨時講師配置数	人	1	1	1		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	学校事務職員や市費教職員等の配置、教育団体への補助等により教職員の資質向上等を目的とした事業であることから、成果指標を設定することは難しい。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	6,902 千円	9,885 千円	9,938 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	6,902 千円	9,885 千円	9,938 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	小学校教育支援者配置事業	一般会計	10 款	2 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	特別な支援が必要な児童に応じた学習活動を推進するとともに、学校生活上の支援を行う。						
対 象 (誰・何を対象に)	小学校の特別支援学級に在籍する児童 小学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 特別支援学級への教育補助員の配置(116,079千円) 小学校の特別支援学級に教育補助員を配置する。 (1) 東広島市立小学校の特別支援学級へ教育補助員54人をフルタイムで配置する。 (2) 教育補助員を配置することにより、特別支援学級に在籍する児童の学習及び生活上の困難を克服し、自立を図っていくための適切な支援を行う。</p> <p>2 通常の学級への教育支援員の配置(58,915千円) 小学校の通常の学級において教育活動全般における特別な支援を要する児童への学習支援を行う。(教員免許の所有を問わない)</p> <p>※平成29年度より小学校教育支援員配置事業を統合し、小学校教育支援者配置事業として一体的に取り組む。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	教育補助員配置人数(特別支援学級)	人	54	54	54		
	教育支援員配置人数(通常の学級)	人	27	27	29		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	特別な支援を必要とする児童に応じた、学校生活上の介助、学習支援等の支援を行うもので成果として数値化することは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	107,108 千円	116,079 千円	174,994 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	107,108 千円	116,079 千円	174,994 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 6	新規・継続	継続
事務事業名	小学校通学支援事業	一般会計	10 款	2 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	スクールバス等の運行や通学費を補助することにより、登下校にかかる児童の安全確保及び保護者の経済的な負担を軽減する。						
対 象 (誰・何を対象に)	小学校への通学距離が遠距離である児童及び公共交通機関を利用して登下校する児童の保護者						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 スクールバス等の運行(51,404千円) 対象小学校区にスクールバスの運行経路を設定し、バス事業者への運行业務委託により、スクールバス等の運行を行う。(予定:6校、11路線)</p> <p>2 通学に要する経費の補助(1,036千円) 東広島市立小中学校遠距離通学児童生徒通学支援に関する要綱に基づき、公共交通機関を利用する遠距離通学児童の保護者に対して、通学に要する費用を補助する。(予定:4校)</p>						
活動・結果 指 標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	スクールバス利用者	人	168	165	165		
	通学補助対象児童数	人	29	25	25		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	遠距離通学児童の登下校の負担を軽減するために、要件に該当するスクールバス利用希望者全員について、乗車可能となるようスクールバス等を運行し、また公共交通機関を利用して通学する遠距離通学児童の保護者の経済的な負担を軽減することを目的とした事業であることから、成果指標を設定することは難しい。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	46,860 千円	51,950 千円	52,440 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	387 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	234 千円	29,536 千円	29,482 千円	千円
	一般財源	46,239 千円	22,414 千円	22,958 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 7	新規・継続	継続
事務事業名	中学校運営事業	一般会計	10 款	3 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	中学校教育の充実・深化を図り、教育の効率を上げるための環境を整備する。						
対象 (誰・何を対象に)	市立中学校 15校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 学校事務職員の配置(6,647千円) 県基準では十分な事務職員が配置されない中学校に市費による事務職員を配置し、学校運営を円滑にする。(予定:3名)</p> <p>2 非常勤講師の配置(17,845千円) 県基準では十分な教職員が配置されない中学校に市費による非常勤講師を配置し、教育環境の改善を図る。(予定:8名)</p> <p>3 教育関係団体に対する補助金、負担金の交付(1,080千円) 学校教育の充実と振興を図るため、市内の教職員等で構成される中学校校長会、中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会等の活動を支援する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	事務職員配置数	人	3	3	3		
	非常勤講師配置数	人	8	8	8		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	学校事務職員や市費教職員等の配置、教育団体への補助等により教職員の資質向上等を目的とした事業であることから、成果指標を設定することは難しい。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	25,635 千円	28,107 千円	28,116 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	25,635 千円	28,107 千円	28,116 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 8	新規・継続	継続
事務事業名	中学校教育支援者配置事業	一般会計	10 款	3 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	特別な支援が必要な生徒に応じた学習活動を推進するとともに、学校生活上の支援を行う。						
対 象 (誰・何を対象に)	中学校の特別支援学級に在籍する生徒 中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 特別支援学級への教育補助員の配置(48,001千円) 中学校の特別支援学級に教育補助員を配置する。 (1) 東広島市立中学校の特別支援学級へ教育補助員22人をフルタイムで配置する。 (2) 教育補助員を配置することにより、特別支援学級に在籍する生徒の学習及び生活上の困難を克服し、自立を図っていくための適切な支援を行う。</p> <p>2 通常の学級への教育支援員の配置(20,022千円) 中学校の通常の学級において教育活動全般における特別な支援を要する生徒への学習支援を行う。(教員免許の所有を問わない)</p> <p>※平成29年度より中学校教育支援員配置事業を統合し、中学校教育支援者配置事業として一体的に取り組む。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	教育補助員配置人数(特別支援学級)	人	22	22	22		
	教育支援員配置人数(通常の学級)	人	7	7	8		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	特別な支援を必要とする生徒に応じた、学習生活上の介助、学習支援等を行うもので成果として数値化することは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	48,001 千円	50,214 千円	68,023 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	48,001 千円	50,214 千円	68,023 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	102 - 9	新規・継続	継続
事務事業名	中学校通学支援事業	一般会計	10 款	3 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標							
目的 (何のために)	スクールバスの運行や通学費の補助並びに自転車通学に係るヘルメット購入を補助することにより、登下校に係る生徒の安全確保及び保護者の経済的な負担を軽減する。						
対 象 (誰・何を対象に)	高屋中学校または河内中学校に公共交通機関等を利用して登下校する生徒の保護者及び市立中学校に自転車通学する生徒の保護者						
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 スクールバス等の運行(14,330千円) 対象中学校区にスクールバスの運行経路を設定し、バス事業者への運行业務委託により、スクールバス等の運行を行う。(予定:1校、1路線)</p> <p>2 通学に要する経費の補助(5,605千円) 東広島市立小中学校遠距離通学児童生徒通学支援に関する要綱に基づき、公共交通機関を利用する遠距離通学児童の保護者に対して、通学に要する費用を補助する。(予定:2校)</p> <p>3 ヘルメット購入に要する経費の補助(2,316千円) 市立中学校に自転車通学する生徒のヘルメット購入費を補助する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	スクールバス利用者	人	35	35	35		
	通学補助対象生徒数	人	110	100	100		
	ヘルメット購入補助対象生徒数		1,156	1,180	1,180		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	遠距離通学生徒の登下校の負担を軽減するために、要件に該当するスクールバス利用希望者全員についてスクールバスを運行し、また公共交通機関を利用して通学する遠距離通学児童の保護者及び自転車通学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減することを目的とした事業であることから、成果指標を設定することは難しい。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	20,679 千円	24,751 千円	22,251 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	418 千円	420 千円	420 千円	千円
	一般財源	20,261 千円	24,331 千円	21,831 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102	-	10	新規・継続	継続		
事務事業名	幼稚園運営事業	一般会計	10	款	4	項	1	目	ソフト
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 学務職員係					総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	幼稚園教育の充実・深化を図り、教育の効率を上げるための環境を整備する。						
対象 (誰・何を対象に)	市立幼稚園 2園						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 嘱託幼稚園教諭の配置(363千円) 教諭の病欠や研修への参加等に対応するため代替教諭を配置する。</p> <p>2 臨時教諭・養護講師の配置(8,406千円) 教諭及び養護講師に欠員が生じた場合に臨時教諭・養護講師を配置する。 (予定:教諭2名、養護1名)</p> <p>3 幼稚園教育関係団体及び教職員研修にかかる負担金(81千円) (1) 広島県国公立幼稚園連盟負担金(65千円) (2) 教職員研修負担金(16千円)</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	臨時教諭・養護講師配置人数月数	人、月	臨時教諭1人×12ヵ月 臨時教諭1人×10ヵ月 養護講師1人×12ヵ月	臨時教諭2人×12ヵ月 養護講師1人×12ヵ月	臨時教諭2人×12ヵ月 養護講師1人×12ヵ月		
	嘱託教諭の配置日数	日	55	44	44		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	教諭及び養護講師の配置、教育団体への加入により教職員の資質向上等を目的とした事業であることから、成果指標を設定することは難しい。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	6,797 千円	8,847 千円	9,260 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	6,365 千円	8,104 千円	5,795 千円	千円
	一般財源	432 千円	743 千円	3,465 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 11	新規・継続	継続
事務事業名	幼稚園教育補助員配置事業	一般会計	10 款	4 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 <small>(何のために)</small>	特別な支援が必要な幼児に応じて適切な支援を行い、個々の能力に応じた教育の場を提供する。						
対 象 <small>(誰・何を対象に)</small>	特別な支援を必要とする東広島市立幼稚園に在籍する幼児						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 教育補助員の配置(22,187千円) 東広島市立八本松中央幼稚園及び御菌宇幼稚園に教育補助員10名をフルタイムで配置し、教員が行う指導を補助することで幼児に対して適切な支援を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	教育補助員配置人数	人	10	10	10		
成果目標 <small>(指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)</small>	特別な支援が必要な幼児に応じた、幼稚園における生活上の介助等を実施するもので成果として数値化することは困難である。						
成果指標 <small>(目標達成状況等)</small>	【成果指標名】	単位	27年度 <small>(実績値)</small>	28年度 <small>(目標値)</small>	29年度 <small>(実績値)</small>	30年度 <small>(目標値)</small>	一年度 <small>(目標値)</small>
					達成率		

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	19,839 千円	22,187 千円	22,187 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	19,839 千円	22,187 千円	22,187 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	102 - 12	新規・継続	継続
事務事業名	学校教育推進事業	一般会計	10 款 1 項 3 目	ソフト
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系		1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	活力に満ちた学校教育の創造と教職員の資質向上を図ることにより、幼稚園・小中学校の幼児、児童生徒一人一人の可能性を最大限に発揮させる。						
対象 (誰・何を対象に)	市立全幼稚園、小中学校の幼児・児童生徒及び教職員						
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 教職員の指導力向上(5,021千円)</p> <p>(1) 教育研究指定推進 市教育推進指定校を10校指定し、実践研究の推進を支援する。</p> <p>(2) 校内研修推進 各幼稚園・小中学校の研究主題に沿い、外部講師を派遣する。</p> <p>(3) 各種研修の充実 学校単位では派遣を受けることができない講師を招聘し、市教職員の資質の向上を図る。</p> <p>(4) 学校教育レベルアップの推進 「夢・挑戦プラン～第四次学校教育レベルアッププラン～」に基づき、学校力、教師力の向上に係る取組を推進する。</p> <p>(5) 小中接続教育の推進 中1ギャップ等の課題を解決するとともに、東広島市の教育水準の向上を図る。</p> <p>2 豊かな学校教育活動の推進(9,988千円)</p> <p>(1) マイタウンティーチャー・学生マイタウンティーチャー派遣 児童生徒の体験活動等の充実を図るため、地域人材や大学生を市立幼稚園、小中学校へ派遣する。</p> <p>(2) 学力検査の実施 児童生徒の学習状況を把握し、指導に生かすための学力テストを実施する。</p> <p>3 小中音楽会及び音楽まつり他(7,683千円)</p> <p>(1) 音楽教育の向上と音楽活動を通じた児童生徒の交流 小学校音楽会、中学校音楽会、中学校音楽まつり(対象:音楽系の部活動)を実施する。</p> <p>(2) 夢・感動推進事業の実施 様々な分野の研究者や専門家、アスリート等から直接的知識や経験を聞くことにより、小学校におけるキャリア教育を推進する。</p> <p>(3) 集団宿泊体験活動を通して、豊かな心を育む。</p> <p>4 教師用教科書及び指導書、道徳副読本、社会科副読本(5,924千円)</p> <p>(1) 必要に応じて教師用教科書及び指導書等を購入し、教科指導において活用する。</p> <p>(2) 小学校社会科における地域に係る学習に活用する副教材を作成する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	マイタウンティーチャー派遣延べ人数	人	1,647	1,700	1,700		
	市教育推進指定校	校	7	8	10		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	<p>「基礎・基本」定着状況調査とは、県内公立小学校及び特別支援学校小学部の第5学年全児童と、県内公立中学校及び特別支援学校中学部の第2学年の全生徒を対象にした学力テストである。この教科の通過率(正答または準正答と回答した児童生徒の割合を教科全体で平均したものと、同時に実施されるアンケート調査の「夢や目標をもっている」の割合を成果指標として設定している。</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)	30年度(目標値)	32年度(目標値)
	「基礎・基本」定着状況調査通過率合計が県合計を上回る学校数	校	44	51	51	達成率	51
	児童生徒が「夢や目標をもっている」と回答した割合	%	87	89	90	達成率	95

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	26,326 千円	33,392 千円	28,616 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	8,133 千円	9,024 千円	1,848 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	454 千円	3,641 千円	千円	千円
	一般財源	17,739 千円	20,727 千円	26,768 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 13	新規・継続	継続
事務事業名	学校の元気応援事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系			1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	学校の元気を応援する各種事業を継続的に実施することにより、幼稚園、小中学校の学校力及び教師力を高め、日本一の教育都市を目指して、本市の教育水準を向上させる。						
対象 (誰・何を対象に)	市立幼稚園・小学校・中学校の幼児・児童生徒及び教職員						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 学校の魅力アップ推進事業(2,642千円) 特色ある学校、現状に満足することなく挑戦する学校及び地域に貢献しようとする子どもの育成をめざす学校の取組を支援する。 支援項目 魅力ある学校図書館づくり(校内読書環境整備) 健康教育の推進 環境の整った美しい学校及び地域づくり 伝統文化の継承(一校一和文化学習の充実)</p> <p>2 学校経営アドバイザーワイド活用事業(13,537千円) 優れた教科指導や部活動指導の力量や経験をもつ退職教員(6人)を非常勤職員として委嘱し、学校からの要請や教育委員会の計画に基づいて派遣し、質の高い授業の実施と教員の指導力の向上を図る。</p> <p>3 学力向上応援プロジェクト事業(424千円) (1) 授業力のある教員の授業公開等を通して研修を実施する。 (2) 学力向上重点校の教育研究及び授業改善を推進する。</p> <p>4 学びの変革パイロット校事業(800千円) 主体的な学びを促進するため、各教科及び総合的な学習の時間等において、「課題発見・解決学習」の指導内容・方法等に係る研究開発を行い、その成果を検証、普及することにより、児童生徒の学力の向上を図る。</p> <p>5 先進地視察(FF研修[Front to Front研修])(314千円) 先進的且つ実践的な取組を行っている地域・学校又は研究会へ教職員等を派遣し、学んだことを市内の小中学校等へ還元するなど、本市教育の一層の向上を図る。</p> <p>6 教科等指導支援員(13,207千円) 教科等指導における教育課題に対応するため、教科等指導支援員を配置し、学校教育の充実を図る。</p> <p>※平成29年度より学校の元気応援事業は、「小学校教育支援員配置事業」及び「中学校教育支援員配置事業」から教科等指導支援員を移動した。</p>						
	活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	学校経営アドバイザー派遣回数	回	341	320	340		
	学校の魅力アップ事業実施校	校	46	44	48		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	各学校が特色を生かした取組を展開しているが、校長の異動による学校経営方針の変更や新たな取組への挑戦等により、同様のテーマで取組を継続していない場合がある。また、教員の授業力の向上をめざし、研修や先進地視察を実施しているが、教師の指導力は中長期的な計画により育成するものであり、短期間で成果を数値化することは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	14,902 千円	17,543 千円	30,924 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	499 千円	799 千円	800 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	14,403 千円	16,744 千円	30,124 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	102 - 14	新規・継続	継続
事務事業名	部活動等助成事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標							
目的 (何のために)	中学校部活動等における各種大会参加に係る保護者の負担軽減及び小中学校の児童生徒の様々な大会参加への挑戦を促す。						
対象 (誰・何を対象に)	市立全小中学校の児童・生徒及び保護者						
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 補助金(14,604千円)</p> <p>(1) 中学校体育連盟・中学校文化部連盟主催大会等派遣事業補助 中学校体育連盟・中学校文化部連盟主催大会の大会要項に示された範囲内の出場者に対して、交通費・宿泊費を派遣費として補助金を交付する。</p> <p>(2) 東広島市小学生体育連盟事業補助 児童の心身の健全な発達を図ることを目的とし、児童のスポーツ活動及びスポーツに関する研修活動を行っている東広島市小学生体育連盟に対して補助金を交付する。</p> <p>(3) 中国中学校駅伝競走大会事業補助 本市内で開催の中国中学校駅伝競走大会に対して補助金を交付する。</p> <p>(4) 全国へ文化発信事業補助 全国大会に参加をする小学校に旅費等を補助することで、東広島市の文化を全国に発信するための支援を行う。また、結果を広報することで、市内の他の学校に対して様々な大会参加へのチャレンジ意欲を高める。</p> <p>2 負担金(2,205千円) 東広島市中学校体育連盟の加盟金規約に基づき、中学校体育連盟負担金(1生徒につき450円)を負担する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	全国大会出場を支援した人数	人	146	100	100		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	<p>保護者の負担軽減や児童生徒の大会等への参加意欲が促されたかどうかを数値化して設定することは困難であるため、成果指標は設定しない。</p> <p>本事業の実施により、運動・文化の両面において、各種大会への児童生徒の出場機会の拡充につながるのと同時に、保護者の負担軽減を図ることにより、全員が大会に出場できるようになる。</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	21,684 千円	17,169 千円	16,809 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	21,684 千円	17,169 千円	16,809 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102	-	15	新規・継続	継続
事務事業名	特別支援教育推進事業	一般会計	10 款	1 項	3 目	ソフト	
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課					総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	校内(園内)支援体制の整備や教職員の意識改革・指導力の向上を図り、特別支援学級をはじめ通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒を支援する。						
対 象 (誰・何を対象に)	特別支援学級及び通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする幼児児童生徒及び教職員						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 特別支援教育サポーターの配置(3,916千円) LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)及び高機能自閉症等の幼児児童生徒に対して人的措置を行い、幼稚園や学校生活への適応や学習活動の充実を図る。</p> <p>(1) 特別支援教育大学生サポーター制度 ア 支援対象幼児児童生徒 通常の学級及び特別支援学級において、生活面等で個別の支援が必要と認められる幼児児童生徒を対象とする。 イ 支援内容 教師による個別指導の補助及び部活動支援等を行う。</p> <p>(2) 特別支援教育サポーター制度(一般) ア 支援対象幼児児童生徒 大学生サポーターによる支援が困難であり、生活面等で個別の支援が必要と認められる幼児児童生徒を対象とする。 イ 支援内容 教師による個別指導の補助及び部活動支援等を行う。</p> <p>2 特別支援教育担当者研修及び特別支援教育講座の開催他(56千円) (1) 目的 ア 特別支援学級担当者、特別支援教育コーディネーターの資質向上を図る。 イ 発達障害や学習上の困難を抱える幼児児童生徒を含めた全ての幼児児童生徒の学力や生活力を高める基盤となる学級づくりに係る講義や演習を通して、実践的指導力を身に付ける。 (2) 内容 特別支援学級の教育課程編成をはじめ、特別支援教育に係わる専門的な知識・実践力を磨く講義・演習等を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	特別支援教育サポーター(一般)派遣時間	時間	2,400	2,620	2,620		
	「個別の指導計画」を作成している幼児児童生徒数	人	786	800	820		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	特別支援教育サポーターの派遣により、特別な支援を要する幼児児童生徒一人一人が安心して学習や生活、部活動等を行うことができる。こうした取組は、特別な支援を要する幼児児童生徒の将来の社会生活の自立に向けて中長期的に取り組んでいくものである。また、教職員の資質向上についても、幼児児童生徒一人一人の実態に応じるために継続して取り組んでいく必要がある。これらの理由から、成果として数値化することは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	3,624 千円	4,119 千円	3,972 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	3,624 千円	4,119 千円	3,972 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	102 - 16	新規・継続	継続
事務事業名	理科観察実験アシスタント配置事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系			1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標						
目的 <small>(何のために)</small>	専門性を有する研究者や大学院生等を理科観察実験アシスタントとして小学校へ派遣し、理科授業における観察・実験を充実し、児童の科学的な思考力・判断力・表現力等の育成を図る。					
対象 <small>(誰・何を対象に)</small>	市立小学校児童・教員					
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 理科の授業の活動支援(829千円) 理科観察実験アシスタントを9名小学校へ派遣し、理科教育の充実を図る。</p> <p>(1) 職務の内容は、理科室及び理科準備室などの理科教育に使用する特別教室の環境整備や、理科の観察・実験活動に係る準備、調査、片づけ、その他理科の観察・実験活動の充実に資することである。</p> <p>(2) 理科観察実験アシスタントに対し、報償費、旅費、役務費を支出する。 (国庫補助金で1/3を支払う)</p>					
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	観察実験アシスタント人数	人	6	6	9	
	観察実験アシスタント配置学校数	校	6	6	9	
成果目標 <small>(指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)</small>	理科観察実験アシスタントによる観察・実験等の充実が図られることにより、児童の理科の授業への意欲の高まりを目指すものであり、理科の授業が好きな児童の割合を成果指標として設定している。					
成果指標 <small>(目標達成状況等)</small>	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)	30年度(目標値)
	アシスタント配置校における理科授業が好きな児童の割合	%	96	95	96	達成率
						一年度(目標値)

3 コスト情報						
		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)	
事業費	事業費合計(A)	558 千円	570 千円	829 千円	千円	
	財源内訳					
	国県支出金	186 千円	189 千円	275 千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	372 千円	381 千円	554 千円	千円	

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 17	新規・継続	継続
事務事業名	外国語教育推進事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 2

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	ALT(外国語指導助手)による実践的な英語教育の展開により、児童生徒の英語でのコミュニケーション能力の向上を図る。また、留学生との交流を通して、グローバルマインドの涵養を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	市立全小学校の児童・市立全中学校の生徒						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 JETプログラムの外国語指導助手(ALT)の派遣(32,432千円)</p> <p>(1) 外国語指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)の参加者である外国人講師6名を市内全中学校に派遣し、1学級当たり、月2回程度の授業を実施する。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>ア 中学校における外国語授業等の補助</p> <p>イ 小学校における外国語活動等の補助</p> <p>ウ 外国語教材作成の補助</p> <p>エ 外国語科担当教員等に対する現職研修の補助</p> <p>オ 特別活動や部活動等への協力</p> <p>カ 外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供</p> <p>キ 外国語能力コンテスト等への協力</p> <p>ク 地域における国際交流活動への協力 等</p> <p>2 外国語活動指導協力者の派遣(7,155千円)</p> <p>平成23年度から、小学校5・6年生で外国語活動が必修となった。本市では、平成21年度から市内全ての小学校全学年において、外国語活動を実施している。</p> <p>外国語活動の時間の充実を図るため、西条町、八本松町、高屋町の小学校に、留学生など英語が堪能な地域人材を派遣して、外国語活動の支援を行う。また、人材の確保が難しい小学校には、JETプログラムのALTを派遣して、外国語活動の支援を行う。</p> <p>3 外国語教育の充実(57千円)</p> <p>小中学校の英語を指導する教員を対象に、指導者研修等を行い、英語教育の充実を図る。</p> <p>4 教室で学ぶ国際理解(55千円)</p> <p>広島大学等に在学する留学生を各学校へ派遣し、児童生徒の国際理解に対する意識の向上を図る。</p> <p>※平成29年度より「外国語活動推進事業」及び「外国語指導助手派遣事業」を統合し、「外国語教育推進事業」として一体的に取り組む。</p>						
	活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	ALTを活用した中学校外国語科の授業数	回	1,916	2,000	2,000		
	地域人材等を活用した小学校外国語活動の授業数	回	4,673	4,680	4,680		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	広島県教育委員会が、県内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に、平成14年度から毎年実施している学力調査「基礎・基本」定着状況調査において、「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」という質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合を成果指標として設定している。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」児童の割合	%	72	74	80		
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」生徒の割合	%	61	61	70		

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	30,392 千円	33,124 千円	39,699 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	1,910 千円	1,920 千円	1,896 千円	千円
	一般財源	28,482 千円	31,204 千円	37,803 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 18	新規・継続	継続
事務事業名	学校図書館運営事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	学校司書の配置や資料整理の電算化により、小中学校学校図書館の環境を整備し、児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館を活用した教育の充実を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立全小中学校						
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 学校司書の配置(18,647千円) 学校司書を配置し、司書教諭あるいは学校図書館担当者と連携し、子どもの読書活動の推進を図る。 (1) 中学校への学校司書配置14名(もみじ中学校を除く全中学校) 【新】(2) 小学校への学校司書配置6名(小学校35校を6グループで担当) (3) 業務内容 ア 学校図書館における蔵書の管理及び学校図書館の環境整備 イ 学校図書館の運営 ウ 学校図書館を活用した学習の補助 エ 教職員及び児童生徒へのレファレンス オ 担当小学校等における学校図書館に係る支援 カ 本市における児童生徒の読書活動の推進に係る活動の支援</p> <p>2 学校図書館システムの保守(3,143千円) 学校図書館システムを活用することで、学校図書館利用状況を把握するとともに、蔵書管理を適切に行う。 (1) 保守業務により学校図書館システム(探調TOOL)49校分を円滑に運用する。 (2) 進級業務や日々の貸出業務を迅速に行うとともに、利用状況を適切に把握する。</p> <p>3 学校図書館情報利用料(1,383千円) (1) 図書購入時に、日本十進分類法によるすべての図書の情報を入手し、図書の検索結果からダイレクトに図書注文リストを作成・発注し、注文図書を早く入手する。 (2) 装備済みの図書を購入し、迅速な閲覧を可能にする。</p> <p>4 学校図書館環境整備費(400千円) ブックコート用フィルム等、図書館環境整備のための消耗品における費用を配当する。</p> <p>5 バーコードリーダー(32千円) 学校図書館システムの蔵書登録等で使用するバーコードの不測の事態に備える。</p> <p>※平成29年度より学校図書システム管理運営事業と学校司書配置配置事業を統合し、学校図書館運営事業として一体的に取り組む。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	システム導入学校数	校	49	49	49		
	学校司書の人数	人	14	14	20		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	<p>図書館に関する専門的な知識を有する学校司書を配置したり、資料整理の電算化を図ったりすることにより、充実した学校図書館の環境づくり、児童生徒及び教職員へのレファレンス、適切な選書が可能になるため、児童生徒の読書活動の推進を図ることができる。 よって、児童生徒の1人当たりの年間貸出冊数を成果指標として設定している。</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)	30年度(目標値)	一年度(目標値)
	児童1人当たりの年間貸出冊数	冊	22	25	27	達成率	達成率
	生徒1人当たりの年間貸出冊数	冊	18	18	20	達成率	達成率

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	12,035 千円	12,905 千円	23,605 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	12,035 千円	12,905 千円	23,605 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	102 - 19	新規・継続	継続
事務事業名	学校体育推進事業	一般会計	10 款	6 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課	総合計画施策体系	1 - 2		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	教職員の体育の指導力向上や児童生徒の体育・スポーツ活動の機会を保障することで、小中学生の体力・運動能力向上を図るとともに、運動やスポーツに親しむ資質、能力を育成する。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立全小中学校の児童・生徒、教職員						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 水泳記録会及び陸上記録会の開催(2,908千円) 体育科授業及び学校における体育的活動の学習成果を発揮し、身に付いた力を試すとともに、スポーツを通じて他校の児童との交流を深める記録会を市立全小学校の高学年標準記録突破者を対象として行う。</p> <p>2 食育推進(164千円) 教科等における食に関する指導や学校の教育活動で行っている食育をさらに充実するため、コンテストの実施や広く市民や保護者に啓発する食育フェアを開催する。</p> <p>3 学校体育推進の支援(3,613千円) 水質管理を徹底し、安全に水泳指導を実施するため、小学校プール管理に係る薬品を配付する。</p> <p>※体力向上応援プロジェクトは、平成29年度より、学校教育推進事業に移動する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	水泳記録会参加人数	人	459	580	580		
	陸上記録会参加人数	人	523	570	570		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査とは、市内全ての小中学校において握力、50m走等8項目の実技等に関する調査である。その得点結果は全国と比較することができるもので、全国平均を上回る項目の割合を指標として設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における得点在全国平均を上回る項目の割合(小中学校)	%	100	100	100		

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	5,530 千円	6,735 千円	6,685 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	5,530 千円	6,735 千円	6,685 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	小学校理科教育振興事業	一般会計	10 款	2 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 学校財務係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	国の理科教育設備費等補助金を活用して、理科・算数の教材備品を整備し、小学校における教育環境の充実を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 理科・算数の教材備品の購入(1,949千円) 国が定めた基準額に対する整備率が低い学校を対象として、理科及び算数の授業に必要な教材備品を購入する。</p>						
活動・結果 指 標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	理科備品購入額	千円	1,500	1,583	1,649		
	算数備品購入額	千円	512	368	300		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>理科教育振興のために必要な備品を整備するためには、国の補助制度を活用することが最も効果的であり、1校当りの基準金額を目標に整備率の向上に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">整備率 = 年度末時点の現有金額 / 国の基準金額 (理科10,341千円/校、算数2,124千円/校)</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	理科備品整備率	%	46.6	47.2	47.4		
	算数備品整備率	%	42.5	42.8	43.2		

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	2,012 千円	1,951 千円	1,949 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	1,006 千円	975 千円	974 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	1,006 千円	976 千円	975 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 4	新規・継続	継続
事務事業名	小学校情報教育推進事業	一般会計	10 款	2 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	高度情報化社会に向けて、児童の情報活用能力の育成や、ICT環境を活用した効果的な授業の実現のため、情報教育環境の充実を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 教育用パソコン整備(44,502千円) 児童が高度情報化社会に適応していくために必要なスキルを習得するため、ICT機器の具体的な操作方法を学習する教育環境整備の一環として、平成28年度までに導入した教育用パソコンの維持管理を行う。</p> <p>2 電子黒板整備(12,700千円) 児童の学習意欲や理解力の向上、並びに授業の効率化や教師の授業改善意欲の向上を図るため、各学校へ整備済の電子黒板の維持管理を行う。</p> <p>3 タブレット端末及び無線LAN整備(10,613千円) 児童の学習意欲や理解力の向上、並びに授業の効率化や教師の授業改善意欲の向上を図るため、平成28年度に各学校へ導入した、タブレット端末、無線LANの維持管理を行う。 また、無線LANの効果的な配備のため、学校施設における電波環境測定を行う。</p> <p>4 統合サーバ運用(16,094千円) 本庁サーバ室(センター)側で管理する統合サーバにより、各学校のパソコンを集中管理し、ウイルス対策や、不正アクセスの監視などを行っており、今後も継続運用する。また、統合サーバの更新に向け、検討を行う。</p> <p>5 情報機器維持管理(1,969千円) 各学校における情報機器、ネットワーク環境の故障等の不具合に対し修繕等、維持管理を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	パソコン管理台数	台	1,955	1,955	1,955		
	電子黒板管理台数	台	82	153	153		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>小学校においては、パソコンは、教職員各1台、パソコン教室1台/2人、特別教室6台/校を目標に整備をすすめ、現在のところその目標は達成している。また、電子黒板は、普通教室各1台を目標に継続的に整備を進めていく方針である。</p> <p>本事業は、情報教育環境の整備に加え、児童の情報活用能力の育成やICT環境を活用した効果的な授業の実現といった目的があるが、現在のところ、その効果までは把握できていないため、成果指標を設定することは困難である。</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	73,568 千円	103,629 千円	85,878 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	1,077 千円	千円	千円
	一般財源	73,568 千円	102,552 千円	85,878 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	小学校新設事業	一般会計	10 款	2 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	寺西地区の急激な人口増により、寺西小学校が過大規模化していることから、分離新設校を設置し、教育環境の向上を図る。																		
対 象 (誰・何を対象に)	寺西小学校の通学区域内児童																		
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 事業概要 寺西小学校の過大規模を解消するため、分離新設することにより、平成30年4月の新設校開校を目指すもの。</p> <p>2 規模等 敷地面積:約23,000㎡、学校規模:校舎約7,500㎡(普通学級24教室、特別支援学級3教室、三ツ城小同等) 附属施設:屋内運動場、プール、グラウンド</p> <p>3 事業スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成工事</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">4月開校</td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成29年度 事業概要 ・報償金・旅費・需用費・役務費(15,817千円) ・工事監理・設計意図伝達業務委託料等(33,447千円) ・造成、建築及び外構工事(1,855,904千円)(2か年工事の2年目) ・備品購入費(173,069千円)、下水道受益者負担金(6,180千円) ・JR高圧線防護管補償費(1,200千円)</p> <p>4 総事業費 約49億円</p> <p>【参考】現在の寺西小学校の状況 敷地面積:約18,000㎡、学校規模:校舎約5,700㎡ 児童数等:児童数1,328人(普通学級37教室、特別支援学級3教室)</p>						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	造成工事	→	→	→	4月開校	建築工事		→	→
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度															
造成工事	→	→	→	4月開校															
建築工事		→	→																
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)														
	事業進捗率(計画事業費ベース)	%	30	60	100														
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	分離新設校を設置し、寺西小学校の過大規模を解消する。																		
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	29年度 (実績値)	達成率	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)										

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	1,615,923 千円	1,003,682 千円	2,085,617 千円	千円
	財源内訳	千円	千円	千円	千円
	国県支出金	千円	189,000 千円	545,024 千円	千円
	地方債	千円	170,100 千円	1,067,700 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	1,615,923 千円	644,582 千円	472,893 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 6	新規・継続	新規
事務事業名	小学校大規模改造事業	一般会計	10 款	2 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等の大規模改造を実施することにより、学校環境の改善を図るとともに、耐震補強工事を行い、建物の耐久性及び安全性の確保を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>【新】1 仮設校舎リース(124,305千円) 東志和小学校及び西志和小学校の一部の施設(建築物)について、耐震性が不足していることから、児童及び教職員の安全確保を最優先に考え、仮設校舎の建設により、早期に施設の安全性を確保する。</p> <p>2 備品移動等手数料(16,300千円) 東志和小学校及び西志和小学校の仮設教室建設に伴い備品を移動する。</p>						
活動・結果指 標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	耐震補強・大規模改造工事(仮設対応含む)	件	2	1	4		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	耐震性が不足している施設をなくすため、耐震化率の向上を目指す。 ※耐震化率=(全棟-昭和56年以前建築棟+昭和56年以前建築棟のうち耐震性がある棟)／全棟						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	32年度 (目標値)
	小学校耐震化率	%	96.2	97.0	100.0		100.0

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	254,332 千円	千円	140,605 千円	千円
	財源内訳	61,430 千円	千円	千円	千円
	国県支出金	107,300 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	85,602 千円	千円	140,605 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 7	新規・継続	継続
事務事業名	小学校プール改築事業	一般会計	10 款	2 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	経年劣化による老朽化を改善するため、プール本体及び便所等附属設備を改築し、教育環境の向上を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 プールの改築工事(70,940千円) 建築年次及びその他の施設状況を考慮し、老朽化したプールを計画的に順次改修していく。また、附属施設についても併せて改善を図る。</p> <p style="text-align: center;">風早小学校プール改築工事(2か年事業の最終年度)</p> <p>【規模・仕様・内容等】 水面積 325㎡(25m×5コース サブプール含む) 材質 FRP製 附属棟 更衣室、便所、機械室</p> <p>2 工事監理等委託(3,656千円) 風早小学校プール改築工事監理業務等</p> <p>3 備品移動等手数料(1,700千円) 風早小学校プール改築に伴い、石碑等の移設を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	事業進捗率(事業費ベース)	%		40	100		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	市立小学校の老朽化したプールについて、計画的に順次、改修を行う。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	千円	60,680 千円	76,296 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	6,800 千円	12,111 千円	千円
	地方債	千円	12,400 千円	21,800 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	千円	41,480 千円	42,385 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 8	新規・継続	継続
事務事業名	小学校増改築事業	一般会計	10 款	2 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	小中一貫教育を実現するための校舎や、児童数の増加により狭隘となったグラウンドにおいて、教育環境の改善を図るため、追加整備を行う。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 造成工事等(69,600千円)</p> <p>(1) 八本松小学校グラウンド造成工事(Ⅱ期) 学校敷地を拡張し、新グラウンドの造成を行う。</p> <p>(2) 寺西小学校フェンス新設等工事 学校隣接道路の拡幅に伴い、学校フェンスを新設するとともに遊具を移設する。</p> <p>2 測量設計等業務委託(40,500千円)</p> <p>(1) 志和小中一貫型小学校・中学校建築設計業務 今後の動向を踏まえた特色ある学校づくり及び小学校の統合基本方針に基づいた小中一貫教育を実現するための学校を整備するため、測量設計業務を行う。</p> <p>(2) 寺西小学校倉庫等解体・新築設計業務 学校隣接道路の拡幅に伴い支障となる倉庫等を解体し、新たに設置するため設計業務を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	八本松小学校グラウンド工事進捗率	%		12	18		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	児童数の増加や減少、施設の安全性を鑑みて施設整備を行う。状況変化に応じて適宜行う整備であるため、成果指標の設定は困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	935,391 千円	240,306 千円	110,100 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	333,595 千円	千円	千円	千円
	地方債	528,500 千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	73,296 千円	240,306 千円	110,100 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 11	新規・継続	継続
事務事業名	中学校理科教育振興事業	一般会計	10 款	3 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 学校財務係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	国の理科教育設備費等補助金を活用して、理科・数学の教材備品を整備し、中学校における教育環境の充実を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立中学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 理科・数学の教材備品の購入(1,354千円) 国が定めた基準額に対する整備率が低い学校を対象として、理科及び数学の授業に必要な教材備品を購入する。</p>						
活動・結果 指 標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	理科備品購入額	千円	1,189	1,214	1,224		
	数学備品購入額	千円	185	142	130		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>理科教育振興のために必要な備品を整備するためには、国の補助制度を活用することが最も効果的であり、1校当りの基準金額を目標に整備率の向上に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">整備率 = 年度末時点の現有金額 / 国の基準金額 (理科22,344千円/校、数学2,364千円/校)</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	理科備品整備率 (28年度からもみじ中を含む)	%	32.0	32.0	32.3		
	数学備品整備率 (28年度からもみじ中を含む)	%	44.0	44.0	44.3		

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	1,374 千円	1,356 千円	1,354 千円	千円
	財源内訳	686 千円	678 千円	677 千円	千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	688 千円	678 千円	677 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 12	新規・継続	継続
事務事業名	中学校情報教育推進事業	一般会計	10 款	3 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	高度情報化社会に向けて、生徒の情報活用能力の育成や、ICT環境を活用した効果的な授業の実現のため、情報教育環境の充実を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立中学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 教育用パソコン整備(35,454千円) 生徒が高度情報化社会に適応していくために必要なスキルを習得するため、ICT機器の具体的な操作方法を学習する教育環境整備の一環として、平成28年度までに導入した教育用パソコンの維持管理を行う。</p> <p>2 電子黒板整備(5,445千円) 生徒の学習意欲や理解力の向上、並びに授業の効率化や教師の授業改善意欲の向上を図るため、各学校へ整備済の電子黒板の維持管理を行う。</p> <p>3 タブレット端末及び無線LAN整備(4,869千円) 生徒の学習意欲や理解力の向上、並びに授業の効率化や教師の授業改善意欲の向上を図るため、平成28年度に各学校へ導入した、タブレット端末、無線LANの維持管理を行う。 また、無線LANの効果的な配備のため、学校施設における電波環境測定を行う。</p> <p>4 統合サーバ運用(7,126千円) 本庁サーバ室(センター)側で管理する統合サーバにより、各学校のパソコンを集中管理し、ウイルス対策や、不正アクセスの監視などを行っており、今後も継続運用する。 また、統合サーバの更新に向け、検討を行う。</p> <p>5 情報機器維持管理(795千円) 各学校における情報機器、ネットワーク環境の故障等の不具合に対し修繕等、維持管理を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	パソコン管理台数	台	1,235	1,235	1,235		
	電子黒板管理台数	台	35	67	67		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>中学校においては、パソコンは、教職員各1台、パソコン教室1台/1人、特別教室6台/校を目標に整備をすすめ、現在のところその目標は達成している。また、電子黒板は、普通教室各1台を目標に継続的に整備を進めていく方針である。本事業は、情報教育環境の整備に加え、生徒の情報活用能力の育成やICT環境を活用した効果的な授業の実現といった目的があるが、現在のところ、その効果までは把握できていないため、成果指標を設定することは困難である。</p>						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	43,830 千円	61,887 千円	53,689 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	503 千円	千円	千円
	一般財源	43,830 千円	61,384 千円	53,689 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 13	新規・継続	新規
事務事業名	中学校大規模改造事業	一般会計	10 款	3 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 <small>(何のために)</small>	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等の大規模改造を実施することにより、学校環境の改善を図るとともに、建物の耐久性及び安全性の確保を図る。						
対 象 <small>(誰・何を対象に)</small>	市立中学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>【新】1 大規模改造工事基礎調査(4,700千円) 向陽中学校校舎、屋内運動場の老朽化が著しいことから、外壁、内装、設備等、校舎全体の劣化状況について調査を実施し、改修箇所、改修方法などの改修計画を策定する。</p>						
活動・結果 指 標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	向陽中学校大規模改造工事進捗率	%	—	—	—		
成果目標 <small>(指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)</small>	学校施設の建築年数、劣化状況等に応じて順次大規模改造工事を実施していく。						
成果指標 <small>(目標達成状況等)</small>	【成果指標名】	単位	27年度 <small>(実績値)</small>	28年度 <small>(目標値)</small>	29年度 <small>(目標値)</small>	30年度 <small>(目標値)</small>	32年度 <small>(目標値)</small>
	中学校耐震化率	%	93.0	100.0	100.0	—	100.0

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	466,697 千円	千円	4,700 千円	千円
	財源内訳	160,673 千円	千円	千円	千円
	国県支出金	161,300 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	144,724 千円	千円	4,700 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 20	新規・継続	継続
事務事業名	学校保健事業	一般会計	10 款	6 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 保健給食係	総合計画施策体系	1 - 3		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	学校における保健管理、安全管理に関し必要な措置を講じることにより、児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立幼稚園(2園)、小学校(36校)、中学校(15校)の幼児、児童、生徒及び教職員						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 各種健康診断の実施(68,915千円) 学校保健安全法に基づき、各種健康診断を実施する。 (1) 児童生徒等の健康診断 ア 内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診(学校医及び学校歯科医による) イ 結核検診 ウ 尿検査 エ 心音心電図検査 (2) 就学時の健康診断 (3) 職員の健康診断(労働安全衛生法に基づくストレスチェックを含む。)</p> <p>2 学校環境衛生管理検査の実施(5,755千円) 学校環境衛生基準に基づき、各種検査を実施する。 (1) 空気中の化学物質濃度検査 (2) プール水水質検査 (3) 飲料水水質検査 (4) 教室等の環境検査(学校薬剤師による)</p> <p>3 各種保険等への加入(17,070千円) 学校管理下における児童生徒等の災害に対し、災害共済給付を行うため各種保険及び学校保健の普及振興を目的とした組織に加入する。 (1) 日本スポーツ振興センター災害共済給付 (2) 全国市長会学校災害賠償補償保険 (3) 広島県学校保健会負担金</p> <p>4 東広島市学校保健会への補助(162千円) 学校保健に関する連絡提携と振興発展を目的とし、学校保健会へ補助を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	児童生徒等健康診断受検者数	人	16,079	16,430	16,482		
	日本スポーツ振興センター災害共済給付件数	件	1,564	1,500	1,450		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	本事業は、法に定められた検査等の実施により、疾病の早期発見や必要な医療の受診指示等を行うことを目的としているため、医療機関への受診率を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	医療機関への受診率(尿検査)	%	50.9	100	100		
	医療機関への受診率(心臓検診)	%	87.5	100	100		

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	84,893 千円	91,862 千円	93,560 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	6,683 千円	6,740 千円	6,750 千円	千円
	一般財源	78,210 千円	85,122 千円	86,810 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 21	新規・継続	継続
事務事業名	学校給食管理運営事業	一般会計	10 款	6 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 保健給食係	総合計画施策体系	1 - 3		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	学校給食の実施に係り、学校や給食センターが衛生的に運営できるよう、統括的な管理を行う。						
対象 (誰・何を対象に)	市立幼稚園(2園)、小学校(35校)、中学校(14校)及び各学校給食センター(7センター)						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 給食従事者の健康診断・腸内細菌等検査(5,170千円) 給食従事者の定期健康診断を実施し、給食調理従事者の健康管理を行うとともに、腸内細菌検査を実施し、食中毒及び感染症の発生、蔓延を未然に防止する。</p> <p>2 学校給食センターの衛生管理(892千円) 学校給食センター内の衛生管理検査を実施し、衛生管理の徹底を図る。</p> <p>3 学校給食センターの施設管理(1,156千円) 学校給食衛生管理基準に基づいた施設管理を実施し、安全な学校給食を提供する。</p> <p>4 配膳室の備品・消耗品の整備(2,198千円) 各受配校配膳室の消毒用物品等、備品・消耗品を整備し、衛生的な給食配膳環境を維持する。</p> <p>5 栄養管理システムの保守管理(124千円) 栄養管理システムの保守管理を行い、適正な栄養管理を行う。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	給食従事者の腸内細菌検査	件	5,629	6,116	5,108		
	衛生管理検査(拭き取り検査、食品検査)	回	2	2	2		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	学校や給食センターの衛生管理の徹底を図るため、学校の配膳室の整備や給食調理従事者の健康管理等、総合的な管理を行っている。 このことから、衛生管理がどれだけ推進できたかを図る指標として「給食における食中毒の発生件数」を設定する。【マイナス指標】						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	給食における食中毒の発生件数	件	0	0	0		

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計(A)	8,484 千円	14,375 千円	10,363 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	8,484 千円	14,375 千円	10,363 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 22	新規・継続	継続
事務事業名	小学校図書整備事業	一般会計	10 款	2 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市立小学校学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、児童の読書意欲を喚起し、読書活動の推進を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立全小学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 学校図書購入費(7,491千円)</p> <p>(1) 文部科学省が示した学校図書館図書標準等を基本とし、各小学校の図書整備率を考え、学校図書を購入する。</p> <p>(2) 日本十進分類法における各級の図書を偏りなく購入することにより、各小学校の学校図書館の読書センター及び学習・情報センターとしての機能を充実させる。</p> <p>※教師用教科書及び指導書、道徳副読本、社会科副読本は、平成29年度より学校教育推進事業に移動する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">小学校学校図書館の様子</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	学校図書館図書整備率が100%に達した校数	校	34	35	35		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	小学校学校図書館の蔵書を整備することにより、学校図書館を利用する児童が増加することが見込まれ、読書活動に対する児童の意欲を喚起することにつながると考え、広島県が実施する「基礎・基本定着状況調査」の児童質問紙調査項目にある「本を読むのが好きです」を成果指標として設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	「本を読むのが好きです。」と回答した児童の割合	%	84.5	82	88	達成率	(目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	98,992 千円	15,205 千円	7,491 千円	千円
	財源内訳				千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	1,995 千円	千円
	一般財源	98,992 千円	15,205 千円	5,496 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 23	新規・継続	継続
事務事業名	中学校図書整備事業	一般会計	10 款	3 項	2 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 指導課			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市立中学校学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の推進を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市立全中学校						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 学校図書購入費(4,951千円)</p> <p>(1) 文部科学省が示した学校図書館図書標準等を基本とし、各中学校の図書整備率を考え、学校図書を購入する。</p> <p>(2) 日本十進分類法における各級の図書を偏りなく購入することにより、各中学校の学校図書館の読書センター及び学習・情報センターとしての機能を充実させる。</p> <p>※教師用教科書及び指導書、道徳副読本は、平成29年度より学校教育推進事業に移動する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">中学校学校図書館の様子</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	学校図書館図書整備率が100%に達した校数	校	14	13	14		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	中学校学校図書館の蔵書を整備することにより、学校図書館を利用する生徒が増加することが見込まれ、読書活動に対する生徒の意欲を喚起することにつながると考え、広島県が実施する「基礎・基本定着状況調査」の生徒質問紙調査項目にある「本を読むのが好きです」を成果指標として設定する。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	「本を読むのが好きです。」と答えた生徒の割合	%	80.2	79	83	達成率	(目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	7,173 千円	54,486 千円	4,951 千円	千円
	財源内訳				千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	7,173 千円	54,486 千円	4,951 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 24	新規・継続	継続
事務事業名	学校給食センター管理運営事業	一般会計	10 款	6 項	3 目
所 属	東広島学校給食センター外7センター	総合計画施策体系	1 - 3		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	衛生的で安心できる学校給食を提供することにより、児童・生徒の心身の発達並びに食育の推進に寄与する。						
対 象 (誰・何を対象に)	小学校35校、中学校14校、幼稚園2園、保育所6所、認定こども園3園						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 安全安心な学校給食の提供 東広島学校給食センター(281,478千円) 西条学校給食センター(64,828千円) 八本松学校給食センター(23,648千円) 福富学校給食センター(6,759千円) 豊栄学校給食センター(5,245千円) 河内学校給食センター(10,805千円) 安芸津学校給食センター(32,366千円) 【新】 (仮称)北部学校給食センター(194,645千円)</p> <p>学校給食は、学校教育活動の一環であり、「学校給食法」に基づき共同調理場を設置、運営することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資するよう、成長期に必要な栄養が確保された安全・安心な給食を提供する。</p> <p>2 食育の推進 偏った栄養摂取による肥満・やせ傾向など食に起因する健康課題に適切に対応するため、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性などの指導を行う。また、自然の恩恵や勤労などへの感謝、食文化についても、各教科等の内容と関連づけて指導を行う。</p> <p>3 地産地消の推進 米については、すべて市内産のものを提供する。また、野菜については、生産者・納入業者との連携を密にして、可能な限り市内産のものを使用する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	年間提供食数	食	3,446,284	3,458,491	3,483,606		
	学校における栄養教諭等による食育	件	495	498	498		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	学校給食センターは、衛生的で安心できる学校給食を提供することを目的としているため、給食による食中毒の発生件数を成果指標として設定している。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	給食による食中毒の発生件数	件	0	0	0		

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	500,012 千円	616,235 千円	619,774 千円	千円
	財源内訳				千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	48 千円	千円
	一般財源	500,012 千円	616,235 千円	619,726 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	103 - 26	新規・継続	継続
事務事業名	小学校施設改修事業	一般会計	10 款	2 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	学校施設の環境改善、教育内容の多様化に対応するため、学校施設の整備を行う。				
対 象 (誰・何を対象に)	市立小学校				
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 校舎改修工事(50,400千円)</p> <p>【新】(1) 川上小学校建具改修工事 不具合が生じている建具の改修工事を行う。</p> <p>(2) 川上小学校及び豊栄小学校配膳室改修工事 (仮称)北部学校給食センターの稼働に伴う配膳方法の変更に合わせて配膳室の改修工事を行う。</p> <p>2 工事監理等委託(4,780千円)</p> <p>(1) 川上小学校及び豊栄小学校配膳室改修工事監理業務委託</p> <p>【新】(2) 八本松小学校及び高屋東小学校下水道接続工事設計業務委託</p> <p>3 備品移動等手数料(1,200千円)</p> <p>川上小学校及び豊栄小学校の配膳室改修工事に伴い、牛乳冷蔵庫等の備品を移動する。</p>				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	配膳室改修工事実施校	校			2
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	学校施設の安全性や利便性を鑑みて施設整備を行う。状況変化に応じて適宜行う整備であるため、成果指標の設定は困難である。				
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)
					30年度 (目標値)
				達成率	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	6,207 千円	34,407 千円	56,380 千円	千円
	財源内訳				千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	6,207 千円	34,407 千円	56,380 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報		事務事業番号	103 - 28	新規・継続	継続
事務事業名	中学校施設改修事業	一般会計	10 款	3 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 教育総務課 施設安全係			総合計画施策体系	1 - 3

2 事務事業の概要・活動計画・指標					
目的 <small>(何のために)</small>	学校施設の環境改善、教育内容の多様化に対応するため、学校施設の整備を行う。				
対象 <small>(誰・何を対象に)</small>	市立中学校				
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 校舎改修工事(106,500千円)</p> <p>(1) 八本松中学校、磯松中学校及び豊栄中学校配膳室改修工事 (仮称)北部学校給食センターの稼働に伴う配膳方法の変更に合わせて、配膳室の改修を行う。</p> <p>(2) 高屋中学校エレベーター設置工事 エレベーターの設置工事を行う。</p> <p>2 工事監理等委託(6,300千円)</p> <p>(1) 八本松中学校、磯松中学校及び豊栄中学校配膳室改修工事監理業務</p> <p>(2) 高屋中学校エレベーター設置工事監理業務</p> <p>3 備品移動等手数料(1,400千円)</p> <p>(1) 八本松中学校及び磯松中学校改修工事に伴う備品移動 配膳室改修工事に伴い、牛乳冷蔵庫等の備品を移動する。</p> <p>(2) 高屋中学校エレベーター設置工事に伴う備品移動 エレベーター設置工事に伴い、ポリタンク等の備品を移動する。</p> <p>4 仮設配膳室リース料(16,312千円) 八本松中学校及び磯松中学校配膳室改修工事に伴い、仮設の配膳室をリースする。</p>				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	配膳室改修工事実施校	校			3
成果目標 <small>(指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)</small>	学校施設の安全性や利便性を鑑みて施設整備を行う。状況変化に応じて適宜行う整備であるため、成果指標の設定は困難である。				
成果指標 <small>(目標達成状況等)</small>	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)
				29年度 (実績値)	30年度 (目標値)
				達成率	一年度 (目標値)

3 コスト情報					
事業費	事業費合計(A)	27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
	財源内訳	42,317 千円	5,200 千円	130,512 千円	千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	54,700 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	42,317 千円	5,200 千円	75,812 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	104 - 1	新規・継続	継続
事務事業名	生徒指導推進事業	一般会計	10 款	1 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 青少年育成課	総合計画施策体系	1 - 4		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	生徒指導上の課題をもつ児童生徒への対応策として、学校における児童生徒や保護者、教職員への相談活動を充実させるなど、生徒指導推進に係る支援を行う。				
対象 (誰・何を対象に)	市立小中学校児童生徒、保護者、教職員				
事業の概要及びH29活動計画	<p>1 生徒指導の充実(3,121千円) 生徒指導上の諸問題の解決に向け、各校における組織的な生徒指導の充実を図る。</p> <p>【新】2 いじめ撲滅に関する児童会・生徒会活動支援(386千円) いじめ問題の未然防止及び解決に向けて、各学校における児童生徒の主体的な活動の充実を図る。</p> <p>3 学校生活相談(24,202千円) (1) 学校生活相談事業 ア 心のサポーターを小中学校に配置し、児童生徒や保護者等を対象に教育相談等を行う。 イ スクールソーシャルワーカーを学校や家庭に派遣し、不登校に係る対応等における学校だけでは解決が困難なケースについて支援を行う。 (2) 適応指導教室の運営 適応指導教室において不登校児童生徒の学校復帰に向けた指導・支援を行う。</p> <p>4 不審者対策(1,364千円) 児童生徒の危険回避能力を高めるとともに、学校安全ボランティア等による「見守り活動」の充実を図る。</p>				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	スクールソーシャルワーカーの活動時間	時間	674	800	900
	心のサポーターの活動時間	時間	6,541	6,580	7,280
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	児童生徒、保護者、教職員を対象とした学校生活相談を充実させることは、問題行動の未然防止や不登校の解決につながる。				
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)
	小中学校不登校児童生徒の割合	%	小:0.27 中:1.70	小:0.22 中:1.68	小:0.22 中:1.68

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	26,131 千円	27,808 千円	29,073 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	30 千円	30 千円	千円
	一般財源	26,131 千円	27,778 千円	29,043 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	104 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	青少年健全育成事業	一般会計	10 款	5 項	1 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 青少年育成課	総合計画施策体系	1 - 4		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	次代を担う青少年が豊かな創造力と自主性をもった社会の一員となるよう、青少年の健全育成活動を推進する。						
対 象 (誰・何を対象に)	市内の青少年及び保護者、青少年の健全育成に係る団体						
事業の概要 及び H29活動計画	<p>1 青少年問題協議会の開催(152千円) 青少年の育成等に関する総合的な施策の樹立につき必要な事項を調査審議及び連絡調整する協議会を開催する。</p> <p>2 青少年育成東広島市民会議への支援(1,210千円) 青少年の健全な育成を図るために、関係機関や団体等との連携を図り、活動をすすめる青少年育成東広島市民会議に対し補助する。</p> <p>3 社会を明るくする運動への支援(513千円) 「社会を明るくする運動」及び「青少年の非行・被害防止に取り組む運動」を推進する委員会に対し補助する。</p> <p>4 放課後子供教室推進事業(7,411千円) 市内24小学校区において、放課後や休日などに小学校、地域センター等を活用して、学習活動やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動など地域の実情に応じた体験活動を実施する。</p> <p>5 児童青少年総合相談室(5,923千円) 教育相談員や臨床心理士が、いじめや不登校などに係る相談活動を行う。また、児童厚生員が子育てに関する悩み等について相談活動を行う。</p> <p>6 少年補導センター(1,993千円) 児童青少年センターを拠点に、補導指導員による街頭補導活動を実施する。</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	放課後子供教室の開設数	教室	24	32	32		
	児童青少年総合相談室の開設日数	日	293	293	293		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	放課後子供教室の開設数や児童青少年総合相談室の開設日数、さらには青少年健全育成に関する団体等と連携した啓発活動の取組は、市内青少年の健全育成につながっていると考えるが、成果を数値化することは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	16,671 千円	20,504 千円	19,262 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	3,990 千円	4,940 千円	4,940 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	41 千円	16 千円	千円
	一般財源	12,681 千円	15,523 千円	14,306 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	504 - 22	新規・継続	継続
事務事業名	学校給食調理業務民間委託事業	一般会計	10 款 6 項 3 目	ソフト
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 保健給食係	総合計画施策体系		5 - 4

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	児童、生徒の心身の発達に資し、衛生的で安心できる学校給食の確立発展に寄与する。																																																				
対象 (誰・何を対象に)	学校給食センター(3センター)																																																				
事業の概要及びH29活動計画	<p style="text-align: center;">学校給食センター学校給食調理等業務の民間事業者への委託実施</p> <p>1 事業概要 平成22年10月策定の「学校給食調理業務等民間委託基本方針」に基づき、条件が整い次第、順次学校給食センターの調理等業務を民間事業者へ委託する。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> <th style="text-align: center;">H31</th> <th style="text-align: center;">H32</th> <th style="text-align: center;">...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西条センター調理業務委託</td> <td></td> <td style="text-align: center;">業者選定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">業者選定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安芸津センター調理業務委託</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">業者選定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東広島センター調理業務委託</td> <td></td> <td style="text-align: center;">業者選定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北部センター調理業務委託</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">8月履行開始</td> <td></td> <td style="text-align: center;">業者選定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H34業者選定</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H35.8月履行開始</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 平成29年度事業概要 学校給食調理等業務の民間委託実施(227,950千円) (1) 安芸津学校給食センター学校給食調理等業務委託事業者選定(84千円) 平成30年8月1日～平成35年7月31日 履行分業務委託契約事業者の選定 (2) 西条学校給食センター学校給食調理等業務(53,255千円) 4月～3月(委託期間:平成28年8月1日～平成33年7月31日 履行分業務委託契約) (3) 安芸津学校給食センター学校給食調理等業務(29,441千円) 4月～3月(委託期間:平成27年8月1日～平成30年7月31日 履行分業務委託契約) 【新】(4) 東広島学校給食センター学校給食調理等業務(145,170千円) 8月～3月(委託期間:平成29年8月1日～平成32年7月31日 履行分業務委託契約)</p>					項目	H27	H28	H29	H30	H31	H32	...	西条センター調理業務委託		業者選定				業者選定		安芸津センター調理業務委託			業者選定					東広島センター調理業務委託		業者選定						北部センター調理業務委託			8月履行開始		業者選定								H34業者選定		H35.8月履行開始
項目	H27	H28	H29	H30	H31	H32	...																																														
西条センター調理業務委託		業者選定				業者選定																																															
安芸津センター調理業務委託			業者選定																																																		
東広島センター調理業務委託		業者選定																																																			
北部センター調理業務委託			8月履行開始		業者選定																																																
					H34業者選定		H35.8月履行開始																																														
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)																																																
	選定委員会開催回数	回	3	3	3																																																
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	「学校給食調理業務等民間委託基本方針」に基づき、条件が整い次第、順次全学校給食センターの調理等業務を民間事業者へ委託することとしているため、委託実施センター数を成果指標とする。																																																				
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度(実績値)	28年度(目標値)	29年度(目標値)	30年度(目標値)	一年度(目標値)																																														
	民間委託実施センター数	施設	2	2	3																																																

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	78,095 千円	80,271 千円	228,102 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	78,095 千円	80,271 千円	228,102 千円	千円

平成 29 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	504 - 23	新規・継続	継続
事務事業名	学校給食センター化事業	一般会計	10 款	6 項	3 目
所 属	教育委員会事務局 学校教育部 学事課 保健給食係			総合計画施策体系	5 - 4

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	衛生管理の徹底を図り、安全安心でおいしい学校給食の提供を行うことが可能なドライシステム化された学校給食センターを整備する。																																		
対 象 (誰・何を対象に)	関係学校給食センター(4センター)																																		
事業の概要 及び H29活動計画	<p>既存4学校給食センター(八本松、福富、豊栄、河内)の統合による学校給食センターの新設</p> <p>1 事業概要 老朽化が進み、衛生管理面で国の整備基準を満たしていない既存の学校給食センターを新センターとして統合新設し、平成29年8月から提供を開始する。</p> <p>2 事業スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 10%;">H25</th> <th style="width: 10%;">H26</th> <th style="width: 10%;">H27</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計・実施設計</td> <td>●</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>外構等工事</td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td>●</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>開設・稼働準備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">8月 提供開始</p> <p>平成29年度 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センター本体建築工事請負(監理業務含む)(574,247千円) ・外構(舗装)工事請負(17,942千円) ・給食センター備品等購入(119,261千円) ・既存センター解体設計等(6,962千円) <p>3 規模等</p> <p>敷地面積:約11,500㎡ 施設規模:約2,700㎡(本体面積のみ) 食数規模:約5,000食/日</p> <p>4 総事業費</p> <p>約20億円(うち平成29年度分 592,189千円) ※建設予定地内における整備費用のみの積算</p>					項 目	H25	H26	H27	H28	H29	基本設計・実施設計	●	→	→			建築工事				●	→	外構等工事		●	→	●	→	開設・稼働準備					●
項 目	H25	H26	H27	H28	H29																														
基本設計・実施設計	●	→	→																																
建築工事				●	→																														
外構等工事		●	→	●	→																														
開設・稼働準備					●																														
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)																														
	事業進捗率(事業費ベース)	%	3.6	68.4	100.0																														
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	老朽化が進んでいる既存の学校給食センターを新センターとして統合新設する事業であるため、成果指標は設定できない。																																		
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)																												

3 コスト情報

		27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	29,486 千円	1,355,352 千円	722,539 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	55,783 千円	千円
	地方債	16,100 千円	1,282,100 千円	585,600 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	13,386 千円	73,252 千円	81,156 千円	千円